

Aichi Referee Bridge

-Aug. 2026-

Topics

- ・ 8月大会スケジュール
- ・ 大阪IH特集&全中特集
- ・ 女性審判講習会（強化）開催報告
- ・ 迷いを自信に変える！
ファウル判定の「3つのものさし」
- ・ T0／オルタネイティングポゼッション
アロー（ゲーム開始時の表示）



愛知県

2026年8月

大会スケジュール



U15	2026年度 U15バスケットボール中学校 県リーグ／地区リーグ U15(クラブ・Bユース)バスケットボールリーグ戦 2026 U13(クラブ・Bユース)フレンドリーグ 2026 【7日・8日】令和8年度第48回東海中学校総合体育大会 バスケットボール競技 @三重
U18	【1日～8日】第79回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会 ABA U18 バスケットボールリーグ 2026-2027シーズン U18日清食品ブロックリーグバスケットボール競技大会2026 男女
社会人	【1日・2日】2025-2026愛知県社会人バスケットボール連盟・リーグ戦 第9回愛知県社会人O-40／O-50バスケットボール選手権大会 愛知県予選 【8日】 2025-2026愛知県社会人バスケットボール連盟・リーグ戦 【15日・22日】第6回市町村対抗バスケットボール大会
学生	第97回東海学生バスケットボールリーグ戦（1部，2部，3部，4部） 【29日・30日】全国学生審判講習会
その他	【7月27日～8月2日】令和8年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 【17日～20日】第56回全国中学校 バスケットボール大会

※大会の詳細は[各カテゴリーHP](#)よりご確認ください。

夏は公式戦だけでなく練習ゲームの多数開催されています！
練習の場所がないと思われる方は、ぜひ練習ゲームから始めてみてください。
練習ゲームは選手にとっても審判にとっても『練習の場』です。
コーチや選手とゆっくりお話しできるのも練習ゲームの良いポイントです。
ぜひチャレンジしてみてくださいね！！



【派遣審判員】
中野 真由美さん (A級)



日程：2026年7月27日(月)～8月2日(日)

会場：○ Asueアリーナ大阪(大阪市中央体育館)

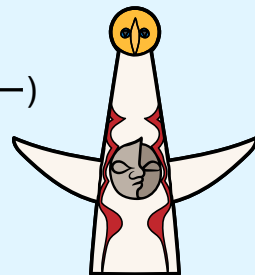
○ 大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)

○ HOS住吉スポーツセンター(大阪市立住吉スポーツセンター)

○ タケダハムはびきのコロセアム(羽曳野市立総合スポーツセンター)

特設サイト：<https://u18.japanbasketball.jp/2026interhigh>

愛知からの出場チーム：中部第一高校 (男子)・桜花学園高校 (女子)



今年も高校生の夏の熱戦が始まっています！

大阪インターハイでは全国から集められた審判員のオンザコートでのパフォーマンスにも注目！！また大阪の高校生B級も審判員として参加されるとのことで、見逃せない試合ばかりです✨



大阪IH & 全中特集



日程：令和8年8月17日(月)～20日(木)

会場：島根県立浜山体育館

出雲市総合体育館

鹿島総合体育館

特設サイト：<https://baske.zenchuu.jp/>

出場チームは8月7日(金)、8日(土) 三重県津市で開催されます東海大会の結果で確定します。

今年の全中は神の国・島根県で開催です✨

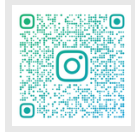
中学生も年々レベルが上がってきており、見応えのある試合が多数繰り広げられています。こちらでも全国で活躍している審判員の方々が参加され、全国大会で最大限のパフォーマンスをオンザコートで発揮されます！

立ち姿・走り方・TOへのコールを是非参考にしてみてください👍



【派遣審判員】
平 武幸さん (A級)

\\ SNSでも活動を
発信しています！ //



@RICHIREFEE

開催報告

アットホームな女性審判講習会を開催しました！

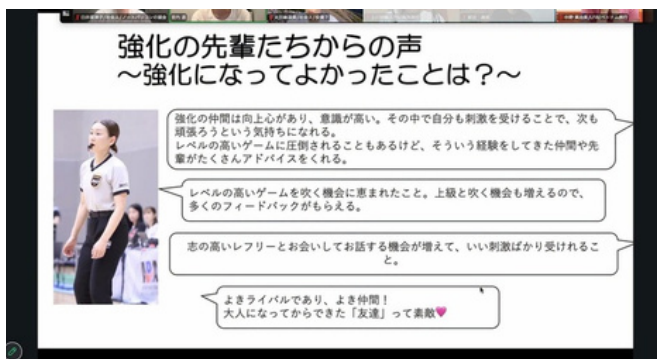
開催日
2026.7.11.12



スキルアップに貪欲な女性レフリーが結集しました！

愛知県の女性審判員数は、年々増加。
現在、709名の有資格者が活動をしています（愛知県全体の約25%）。

B級・C級のライセンスを交えた講習会って？



(オンライン時写真)

本講習会では、オンライン講習＋実技講習の2日間開催。
「どうしたらB級ライセンスを目指すのか」「A級・S級ライセンスを目指すのか」等の愛知県の強化制度をご案内。また、「審判技術向上のために取り組んで欲しいこと」を、映像を交えながらオンライン講義を実施しました。



女性審判の存在が刺激となり

実技講習会では、2PO/3POで開催。
ゲーム後は、インストラクターからのフィードバックを行いました。ライセンス・所属のカテゴリー・年齢等を超え、お互い刺激を受け合いながらの講習会となりました。

参加者 VOICE



Nさん
(C級ライセンス)

異なるカテゴリーの方と吹かせていただいたり、(他の方が)吹いている試合を見ることができて、様々な発見をすることができました。



Sさん
(C級ライセンス)

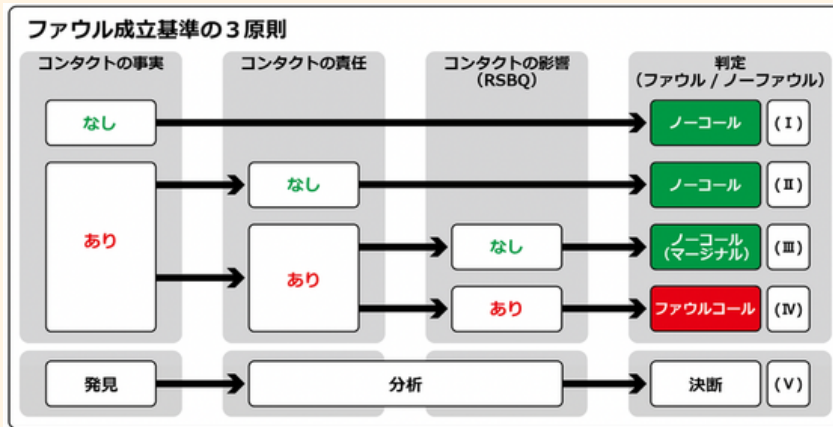
自分の吹く試合をアドバイスしてくれるのもですが、他の試合を一緒に見て「今のこうですか？」と質問できたことや、「あれはファールだね」と教えてくれたことも私自身の成長に繋がったと思っています。



Sさん
(B級ライセンス)

実技講習は緊張でまったくうまくいかなかったですが、もっとできるようになりたい、もっと経験したいと思いました。それ以上に女性の上級審判の方たちと一日過ごすことができ、志しや立ち振る舞い、考え方、向き合い方に本当に感動しとっても価値のある時間だったなと思いました。

迷いを自信に変える！ ファウル判定の「3つのものさし」



「全てのコンタクトがファウルではない」

コンタクトに対するファウルの成立基準には以下の3原則があります。

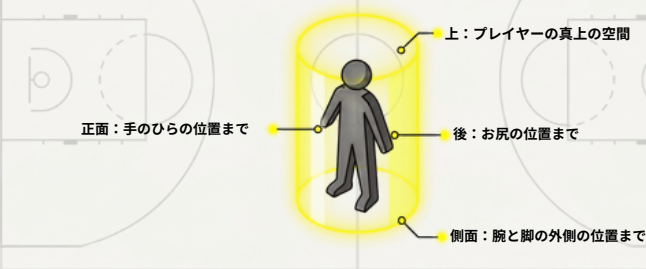
- ① コンタクトの**事実**
- ② コンタクトの**責任**
- ③ コンタクトの**影響**

【コンタクトの影響の判断基準】

R(リズム)S(スピード)B(バランス)Q(クイックネス)

判定の基準「シリンダー」の考え方

コート上の全プレイヤーは、自分専用の「透明な土管（シリンダー）」を持っています。シリンダーにはプレイヤーの真上の空間が含まれ、ディフェンスのプレイヤーとボールを持っていないオフェンスのプレイヤーのシリンダーの境界は以下の通りです。



衝突の判定マトリックス：シリンダーへの侵略者はどちらか？

チャージング（オフェンスの責任）

ブロッキング（ディフェンスの責任）



状況：ディフェンスが「先」に正当な防御位置を占め、壁になって待っていた
原因：オフェンスが強引に突っ込み、相手の胴体に突き当たった

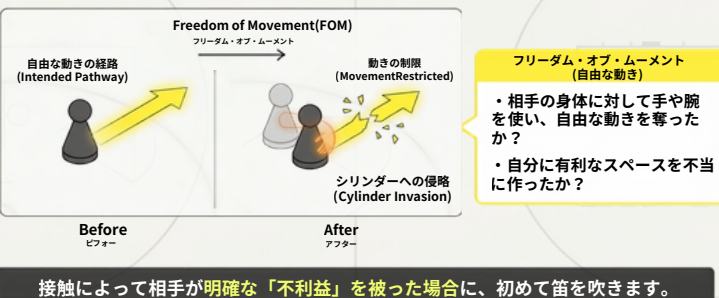


状況：ディフェンスの位置取りが「間に合っていない」
原因：足が動きながら柵めから入り込んだり、シリンダーの外側に腕や足を広げて進行を妨げた



接触があっても「自由な動き」が奪われなければファウルではない

大前提として、手や腕は「ボール」に対してプレイするためのものです。



自由を奪う「手や腕のファウル」3つの分類

ホールディング（抑えて妨げる）

プッシング（無理に押しのける）

ハンドチェックング（手で触れ続ける・叩く）



・手や体の一部で相手を掴み、動きを止める行為。（抑かれそうになって思わず手が出る等）



・手や体で相手を無理に押し動かす行為。（リバウンドやポジション争い含む）



・手や腕を相手に当用つけて動きを妨害する、またはボールではなく腕を叩く行為。

◎自信を持って笛を吹くために

審判の役割は「プレイヤーが怪我なく、公平に競い合える環境を作ること」です。そのために、

- ・ **鋭く笛を吹く**： 接触を見つけたら「ピッ！」と短く強く吹き、片手をグーにして高く突き上げましょう。
- ・ **はっきりと示す**： ブロッキング（両手を腰に）やプッシング（両手で押す）など、学んだシグナルを堂々と周囲に示してください。

最初は迷うのは当前です。「先に止まっていた方の権利を守る」というシリンダーの原則を意識するだけで、プレイの捉え方が変わります。

勇気を持って一步踏み出しましょう！

判定からTOコールまでの「3ステップ」

ステップ1

ステップ2

ステップ3



ステップ1: 笛とストップのシグナル

・ファウルを見つけたら笛を「ピッ！」と鋭く1回鳴らす。
同時に片手をグーにして高く突き上げ、時計を止める。



ステップ2: TOへのレポート

・スコアラズテーブル (TO) が見える位置に移動。3点セット (①ファウルをした選手の「番号」・ファウルの種類・再開方法) をシグナルと声を使って伝達する。



ステップ3: 次の再開方法の準備

・TOに伝達した内容が伝わったことを確認後、タイムアウトや交代がないことを確認。
その後のスムーズな再開のために、所定の位置に移動し、スローインまたはフリースローにて再開する。

TO (テーブル
オフィシャルズ)

TOの正しい操作が いい試合につながる

TO委員会より

今月はオルタネイティングポゼッションアロー(ゲーム開始時の表示)について
紹介したいと思います。

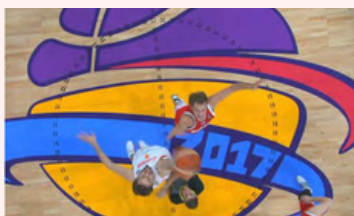
※スコアラール=S Aスコアラール=AS タイマー=T SCオペレーター=SC

【オルタネイティングポゼッションアロー - 競技規則 第12条 一部抜粋】

- ・ジャンプボールシチュエーション(両チームがボールに対して同等の権利を持ち、本来ジャンプボールで再開すべき場面で、ジャンプボールの代わりにスローインでボールをライブにするゲーム再開の方法である。
- ・最初のポゼッションの権利は、ジャンプボールの後、最初にライブのボールのチームコントロールを得られなかったチームに与えられる。
- ・アロー(矢印)は、次にスローインの権利が与えられるチームの攻める方向を示す。

【ゲーム開始時の表示】

- ・ジャンプボールのトスアップ前は、アローは表示しない。または中立の状態にしておく。
- ・ジャンプボールの後、どちらかのチームがコート上でボールをコントロールしたら、アローはその相手チームの攻めるバスケットの方向に向ける。

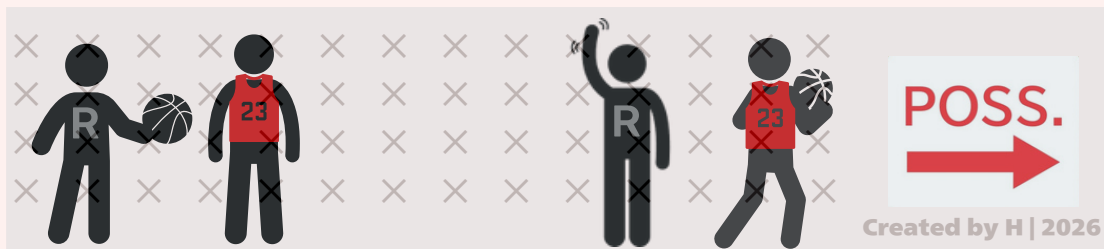


POSS.
←

(例) ジャンプボールの後、白チームがコート上でボールをコントロール。アローは赤チームに向ける。

- ・ジャンプボールの後、どちらのチームのボールコントロールも確立されないうちに
 - ① ヘルドボールまたはダブルファウルが宣せられたときは、アローは表示なしのままにしておく。
→ 再びジャンプボールが行われる。
 - ② アウトオブバウンズになった場合やバイオレーションまたはパーソナルファウルが宣せられた場合は、スローインのボールが与えられたときに、相手チームが攻めるバスケットの方向にアローを向ける。
(このときに与えられるスローインはバイオレーションまたはファウルの罰則であるから、スローインされたボールがコート上のプレーヤーに触れてもアローの向きは変えない。)

【②のアローを表示をするタイミングについて】



審判がボールを持っている

スローインのボールが与えられたときにアローを白チームに向ける

★詳しい内容につきましては、JBAテーブルオフィシャルズマニュアルをご確認ください

<http://www.japanbasketball.jp/to/documents>

★TeamJBAの基礎eラーニング(無料)を受講することもおすすめてです

https://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/TO-e-learning-guide_20260331.pdf